

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(37)

積極的に関与

いわゆる基礎研究に連載で触れたソサエティー5・0や、持続可能な開発目標（SDG）にみられるような社会課題解決型の科学技術の取り組みが増す傾向にある。従来は「科学技術振興のための政策」、つまり科学技術を振興するための予算や制度などの施策が中心であった。

それに加え、「政策課題解決のための科学技術」、すなわちさまざまな社会的課題を解決しようとする政策に対する科学技術が積極的に関与していく取

いわれる基礎研究に連載で触れたソサエティー5・0や、持続可能な開発目標（SDG）にみられるような社会課題解決型の科学技術の取り組みが増す傾向にある。従来は「科学技術振興のための政策」、つまり科学技術を振興するための予算や制度などの施策が中心であった。

り組みを重視するようになつたことが背景にある。公募研究プログ

ラムにおいて、社会課題を対象とするテーマ

変化にも表れる。科学技術基本計画は5年ごと

えてきている。

社会的課題に対するノベーション会議（CSTI）で策定される

シヨンの観点や課題解

が、2018年と19年

が設置された。これら

は、戦略のスコープが

域へ守備範囲を拡大し

ます。協働で価値創造

ます。

待などから、日米欧などの諸国で重要と認識され、日本では科学技術基本計画に、科学技術基本計画に、「成長戦略実行計画」（日本経済再生本部）などが示された方針を受け、科学技術によってどう実現するかを示したものといえる。

体制的には、CSTIⅠほか科学技術系の国家戦略を考える本部組織を連携させる形で統合イノベーション会議（CSTI）で策定される

シヨンの観点や課題解が、2018年と19年が設置された。これらは、戦略のスコープが域へ守備範囲を拡大し

ます。協働で価値創造

つある。経済産業、

科学技術の振興

による価値創造がます

ます。

政策 社会課題解決へ範囲拡大



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター
フェロー（科学技術イノベーション政策ユニット）**日江井 純一郎**
東京理科大学大学院理学研究科修士課程修了。新技術開発事業団（現
JST）入団。産学連携事業、基礎研究事業などにおいて企画立案、事
業推進に従事。日本医療研究開発機構（AMED）への出向を経て、
18年より現職。

日米欧における社会的課題に対する取り組み（抜粋）

日本 (科学技術基本計画)	米国	欧州(EU) (Horizon 2020)
<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの安定的確保とエネルギー利用の効率化 食料の安定的な確保 世界最先端の医療技術の実現による健康長寿社会の形成 持続可能な都市および地域のための社会基盤の実現 自然災害への対応 食品安全、生活環境、労働衛生などの確保 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的攻撃・サイバー攻撃からの国土の防衛 自然災害への準備・対応の向上 宇宙の探査と商業化の拡大 AIと高性能コンピューターの活用 麻薬・オピオイド中毒との戦い バイオメディカル・イノベーションの促進 	<ul style="list-style-type: none"> 保健、人口構造の変化および福祉 食料安全保障、持続可能な農業およびバイオエコノミーなど 安全かつクリーンで、効率的なエネルギー スマート、環境配慮型かつ統合された輸送 気候への対処、資源効率および原材料 包摶的、イノベーティブかつ内省的な社会の構築

JST-CRDS（研究開発戦略センター）研究開発の俯瞰報告書
「主要国の研究開発戦略」（19年3月）を基に作成